

サルデーニャ州の城、隠された秘宝



ボーザ、セッラヴァッレ城 autore marmo81 - fonte www.shutterstock.com

中世から、歴史、伝説、そしてミステリーを運んでくれる城は 100。海を見下ろす岬からは夢のように砂浜を見渡し、山頂からは溪谷を見下ろす。見渡す先には個性的な村々が広がります。11 世から 14 世紀に造られた中世サルデーニャの 4 つの国の城は、ジェノヴァ共和国とピサ共和国の支配とアラゴン家の支配の間で、サルデーニャ島の歴史が色濃いものであるという具体的な証です。

城は軍事的な役割を果たし、武装した守備隊を収容していましたが、場合によっては継続的あるいは一時的な貴族の住居となったこともありました。防御としての役割が必要無くなると、数世紀の間、放置されたものもあります。多くは失われ、中にはサルデーニャの厳しい風景の中に残る魅力的な遺跡となった場合もあれば、



カステルサルド、ドリア城塞夜景 fonte Comune di Castelsardo



カステルサルド、ドリア城塞 fonte Comune di Castelsardo

当時のままで現代に残ったものもあります。そしてその中には現在は島で唯一今も人が住む**サンルーリ城**や、地中海織物博物館となっている**カステルサルドのドリア城塞**など、博物館になったものもあります。**ラス・プ
ラッサスにあるマルミッラ城**は、博物館ではありませんが、城が建つ円錐状の丘のふもとに、展示スペースが設けられています。

あらゆる城に、世代を超えて語り継がれ、時に歴史的に歪められたファンタジーの要素が膨らんだファンタズマ（幽霊）、戦いの話やうっとりとするような物語があります。そしてすべての話の奥には、真実が隠されています。その物語は、時に血なまぐさい戦いや未解決の「謎」を、愛や裏切り、囚われの身や苦しみ、誘拐や逃亡、監視塔に纏わる話であったり、地下通路、武器部屋、豪華なダイニングルームなどの物語だったりします。果てしなく続く迷路のようなトンネルは、敵からの包囲を避けるための逃げ道として造られました。城に共通する伝説といえば、秘密の通路からたどりつくことのできる場所に隠された財宝が眠っているというものですが、宝探しはいつの時代でもとても困難なものでした。



ラス・プ
ラッサス、マルミッラ城 fonte Provincia Sud Sardegna



カリアリ、サン・ミケーレ城 autore AleMu74 - www.shutterstock.com

カリアリのサン・ミケーレの丘にある城は、文化的、自然主義的な観点から注目されており、地下にある複雑に入り組んだトンネルには、神秘的な雰囲気漂わせており、このトンネルがどこへ続くかは未だ解明されていません。

そしてサルダーラにある**モンレアーレ城**の城主は邪悪な男で、自身に対する相手の憎しみを自覚していたため、居城に閉じこもっていました。彼は時おり、とても長いトンネルを使ってオリスターノへと出かけて行ったので、そのトンネルの樽の中に、今も財宝が眠っているのです。誰もその財宝を探さない理由、それは、その樽の横には巨大で奇怪なハエがたくさん寄ってくる樽が置かれているからです。



サルダーラ、モンレアーレ城 Autore Valentino Selis - fonte www.sardegnaturismo.it



オルビア、ペド레스城

autore Valentino Selis - fonte www.sardegnaturismo.it

多かれ少なかれ信憑性のある出来事には、**トッレス国の城**に住んだ**マラスピーナ家**や**ドリア家**、オルビアの門にある**ペド레스城**の所有者である**ヴィスコンティ・ディ・ガッルーラ**など、勇敢な男たちや貴族が関わっています。しかし、話の主人公は多くの場合、「**ジャナス (Janas)**」と呼ばれる妖精といった神話の姿をした女性です。例えば、ギリシャ神話で魔女と妖精の間とされる**メデューサ**にちなんで名づけられた城として、**サムゲオ城**と**ロツォライ城**があります。

強烈な個性をもった女性たちの逸話もあり、その筆頭は**エレオノーラ・ダルボレア女王**です。また**トッレスの最後の女王アデラシア**は自ら、**ブルゴス**にある**ゴチェアノ城**に籠もり、一方で美しい王女**ヴィオランテ・デ・カッロス**は、最後の劇的瞬間まで**クイッラ要塞**を放棄しませんでした。また**ファーヴァ城**の名前の由来は、サラセンの海賊、**ポサーダ村**の住人そして...鳩が関係する、伝説的な出来事であることも興味深いです。



ポサーダ、ファーヴァ城

autore Valentino Selis - fonte www.sardegnaturismo.it

おすすめ体験とスポット TOP Experience

セッラヴァッレ城 別名マラスピーナ城、ボーザ

セッラヴァッレの丘からボーザの街を見下ろす城。ここからテーモ溪谷が形成され、海へと航海が可能です。貴族パラスピーナ家の居城として建築された12世紀からほとんど変わることなく今に残る城。構造はほぼ元のままであり、小さな街の歴史は城主と深く絡み合い、中世の魅力を色濃く残しています。



ボーザ、セッラヴァッレ城 Autore Ivoha - fonte www.shutterstock

ドリア城、キアラモンティ

アングローナ地方におけるジェノヴァ共和国の領地を監視する地として中世期に建築され、その遺跡は今は新しい命が吹き込まれ、文化イベントや月の光の中で開催されるジャズコンサートなどが開催されています。

ポンテス城、ガルテッリ

ノーベル賞文学賞受賞作家グラツィア・デレッタと強いつながりを持つ城は、今でも城を所有していた貴族の幽霊が住み着くと言われています。彼女の代表作「Canne al vento（風にそよぐ葦）」の世界を体感する理想的な出発点と言えるでしょう。



サンルーリ城

従来の城の概念とは異なる城であり、メディオ・カンピダーノ地方にある穏やかな街の小道に隠れるように建てられています。サルデーニャ州で今も人が住む唯一の城であり、そこに住む貴族の一族の最後の子孫が、20世紀初頭から城内の部屋のいくつかを博物館として公開しています。

サンルーリ城 fonte Comune di Sanluri

アクアフレdda城、シリクア

城の魅力、それはその特徴にあります。つまり、渓谷を見下ろすパノラミックなロケーションであり、あるいは丘の頂上まで到達する緩やかなトレッキングルート。さらに、この城が建つ岩自体が、アクアフレddaのドーモ・アンデシティコとして、天然記念物に登録されているのです。そしてダンテ・アリギエーリの時代の、ウゴリーノ侯爵が実際に住んだ場所でもあります。



アクアフレdda城

autore AG-PHOTOS - fonte www.shutterstock.com



アクアフレdda城 fonte Cooperativa Antarias

詳細情報（英語）

[ボーザ城](#)

[サンルーリ城](#)

[アクアフレッタ城](#)

[サン・ミケーレ城](#)

[ドリア城](#)